

第8回 アマチュア無線との出会い

# モールス通信 バンザイ!

いつの頃からか、アマチュア無線でCWの運用をメインにしている自分がいた。「なぜ?」と振り返ったとき、CWは私にとって、なかまの輪を広げてくれる大切なものになっている気がする。私の無線(CW)史を振り返ってみたい。

JR5GWR 宅間 万芳 Kazuyoshi Takuma



20歳代の初めに、職場の先輩が運用していたアマチュア無線。それまで、文系コースを進んできた私にとって、アマチュア無線家は新鮮でまぶしく写ったことを覚えています。

### CW運用へ向けて

仕事が終わってからの夜間講習会に参加してアマチュア無線の免許を修得しました。初めは、モー

ビルから144MHzでラグチューするだけの知識しかなかったのですが、地元の社団クラブに入会させていただき、アマチュア無線の魅力と移動運用の基本的なノウハウを勉強することができました。そして大先輩のCW運用を目のあたりにして、CWへの興味関心が深まってきました。

CW運用へ向けて、まず目標を設定しました。それは、3アマ修得です。まず、長点・短点をカードや紙を使ってすべて覚えてから、CWのテープを聞きました。しかし、覚えたことがスピードについていけずまったくお手上げ状態でした(CWは音で覚える、という意味を実感しました)。

そこで全体的に聞き取ることをあきらめ、一文字一文字を聞き取るように心がけました。このときは、必ず毎日、短時間でも受信練習の時間を確保しました。その中で、スピードに慣れ少しずつ聞き取れる文字が増えていきました。



写真1 移動先で、調理場のテーブルとイスを借りて運用中

## モールス通信バンザイ!



写真2 ワイヤ・アンテナで各バンドにQRV



写真3 JH5YCWを運用中の筆者

その後、平文の受信練習も進めました。3アマに合格すると、和文を含めた上級免許にも挑戦しました。

ところが1993年に電信の資格を取得したあとも、運用を行う勇気がなく、SSBの移動運用を続けていました。そんなある日、デパートの駐車場で家族の買い物が終わるのを待つ間、何気なく50MHzをワッチし、CWを聞きました。筆者が住む高知という場所から、パイルアップがなく奇麗でわかりやすい符号でした。CWを聞くのが久しぶりでしたが、なぜか符号がわか

ることにおもしろさを感じました。

そして、この頃からCWを聞くことが増え、CWにはまり始めようと思います。そして今では、車のナンバーを「599」にして、おもに週末、CWを中心に楽しんでいます。

### CWを楽しむ

いろいろな楽しみ方がありますが、私の場合は移動運用とコンテストだと言えます。移動運用に関しては、初めの頃は地元のOMとともに移動して運用を楽しみまし

た。しかし、モバイルホイップ一本だけで簡単に移動運用ができることを知ってからは、キャンプ場のテーブルで運用するなど、一人で移動運用をするようになり、10MHzのアンテナを一本だけ持って県内一周をしたこともありましたが、お手軽運用ではアンテナ1本の移動をすることもありますが、最近はロングワイヤーを使って多くのバンドにQSYしながらの運用も楽しんでいます。

コンテストは、ローカル・コンテスト(高知マラソン)から始まりま



写真5

写真4

# モーリス通信バンゲイ!

す。初めて無線の免許を取った年、誘われてコンテストに参加しました。そのときは、交信した記録を紙に書き、先輩に渡しただけでしたが、先輩がログを提出してくれ参加賞まで頂いたことが、それ以後の私のコンテストに大きな影響を与えてきたように思います。

電話部門で、コンテストに出ている頃、よいアンテナ、強力なパワーが欲しいと思いました。でもアンテナを立てたりパワーを上げる条件が整わず、精いっぱい頑張っても勝てない、と腐りかけた時期もありました。そのときに興味本位でCWコンテスト参加に切り替えました。CWだと、自分で時間をとれば簡単な設備でパワーがなくても高得点を稼げることがあり、CWフィルタを使い空き周波数を見つけて楽しみました。「599 39 BK」が多かったのですが、多くの局とQSOすることができる楽しさに夢中になっていきました。

## 向上を目指して

どんなときも、これで満足せず目標を持っていたい。そんな私にA1 CLUBはインターネットを通して多くの情報を与えてくれます。

アマチュア無線は、それぞれが何か目標を持たなければ楽しくないと思います。その目標は、自己満足かもしれませんが同じ目標に向かって頑張る仲間がいる楽しさを感じさせてくれます。

なお毎週、土曜日の朝、7.025MHz付近で、A1 CLUB OAM(オン・エア・ミーティング)を実施しています。会員外の方も、練習だと思って、ぜひコールをしてください。会員でなくても歓迎されるはずです。ぜひ、みんなで、CWを楽しんでいきましょう!



写真6 2008年秋、全市全郡コンテスト参加のJH5YCWオベ各局

## 四国A1 CLUB


個人でのコンテスト参加を続けていたころ、A1 CLUBの有志とともにJO1ZZZを運用する機会をいただきました。先輩方のオベを見ることは勉強になったし、みんなで雑談をしたりCQを出したりして一つの目標に向かって頑張ることが楽しかったです。それから何度か社団局の運用を経験するうちに、自分たちも社団局が欲しい!と言う気持ちが芽生えていました。

その願いに答えてくれたのがA1 CLUBであり、2007年にA1 CLUBの地方社団局として、5エリア有志を中心として四国A1 CLUB(JH5YCW)<sup>注1)</sup>を結成しました。JH5YCWのデビューは、2007年の全市全郡コンテストです。

JH5YCW結成以来、JARL主催のコンテスト参加を中心に活動してきました。

今、コンテストへの参加は通信マルチオベ部門ですが、JH5YCWはコンテスト・クラブではないし、CWクラブでもありません。構成員ならいつでも運用できますし、CW以外のモードにもQRVできます。興味のある方がいましたら、ご一緒にいかがでしょう。

## 最後に

「趣味の王様アマチュア無線」と言われるように、アマチュア無線(CW)は、技術・知識以上に仲間の輪を広げてくれています。子育ての時期に、QRT気味になったこともありましたが、リグ1台だけは部屋に飾り、細々ながらもアマチュア無線を続けていくことができました。これからも、多くの方にCWの楽しさを知っていただきCWの交信を楽しんでいきたいと思います。みなさん、お空でお会いしましょう! 

注1) JH5YCW Web: <http://www.a1club.net/jh5ycw/index.html>